

# すみれ通信 50号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています



令和元年 2019年8月1日

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

☎ 0466-41-9980

Fax 0466-41-9981

メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



長かった梅雨がやっと明けたと思ったら、酷暑がやってきました。急な暑さに体がついていかず、熱中症になる人が多くなっています。適度の水分の摂取と休養をとりながら夏を乗り切りましょう!!!



今年度の在宅医療支援センターの年間計画である、「コミュニケーションツールとしてのICT導入」に向けて、ICT説明会の開催。

第1回 7月19日 (金) 19:30~21:00

第2回 7月30日 (火) 19:30~21:00

説明業者 ・カナミックネットワーク

・NTTモバカルネット

第1回 参加者 55名 アンケート回収 44名  
説明会に参加して、28名の方がICTについてイメージがついたと回答され、多職種間でタイムリーな情報交換ができる事をあげていました。充分わからないと回答した方は、導入や維持に関するコストへの質問、具体的な導入に対する疑問が聞かれました。

第2回のアンケート結果は今後集計します。その結果で、具体的な導入(テスト導入)に向けて取り組みを行う予定としています。

## 在宅医療 市民公開講座

8月17日 (土) 14:00~16:00

藤沢市保健医療センター 3階研修室

講師 ココロまち診療所

片岡侑史 医師

元気なうちから考える老いと病い

どなたでも150名 申し込みはFAXで



## 第1回 医師のすそ野を広げる研修会

## 第2回 在宅医療・介護連携多職種研修会

日時: 10月18日 (金)

19:30~21:00

場所: 藤沢市医師会館

テーマ: ACPのあるべき姿

人生の最終段階における

意思決定支援(仮)

講師: 医療法人財団老蘇会

清明館診療所

大友 宣 医師

☆ 研修案内と、申込書は後日配布予定です。



## きずケア外来のご紹介

医療法人篠原湘南クリニッククローバーホスピタル  
創傷マネジメントセンター長  
皮膚排泄ケア認定看護師 内藤 亜由美

当院では、2019年4月より「きずケア外来」を開設しました。

褥瘡や、急性期治療の適応のない下肢潰瘍、ストーマ合併症の予防ケア・治療は、生活を考慮した診療・ケアが鍵となります。

そこで、「きずケア外来」では在宅療養やセルフケアを支えるために慢性創傷の予防から治療まで皮膚排泄ケア認定看護師19年のキャリアを持つ特定認定看護師が医師とともにチーム医療でケアを担当しています。必要時は医師の判断で入院治療にも対応いたします。外来日: 予約制 (電話で希望日を確認し受診日を調整します)

対象: 褥瘡(床ずれ)、下肢潰瘍(糖尿病性、動脈性、うっ滞性など)、消化器系・尿路系ストーマ、排泄関連の皮膚障害、胼胝(たこ)・鶏眼(うおのめ)、肥厚爪(厚くなって切れない爪)など

詳細は病院ホームページ

(<http://cloverhospital.jp/hospital/department#ka16>)

をご参照ください。

地域の皆様に信頼され活用していただけるようにご要望に応える活動して参りますので、よろしく願いいたします。

どうぞお気軽にご連絡ください。



イラスト  
WANPUG

### \* 皮膚・排泄ケア認定看護師について

創傷・オストミー・失禁の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことで。WOC看護認定看護師は2007年7月より一般の皆様によりわかりやすい名称へ変更となり皮膚・排泄ケア認定看護師となりました。英語表記はこれまでと同様に「Certified Nurse in Wound, Ostomy and Continence Nursing」とし、対象領域がわかるようにしています。

\* 特定看護師は2025年の団塊世代が75歳以上になる時には熟練した看護師の技術だけでは医師の補助に足りない、として設けられた事により生まれた看護師です。看護師の行う特定行為とは、実践的な理解力や判断能力のほか、高度な専門知識や技術をもって行う診療補助のことで。ただし、特定看護師の判断で特定行為が行えると言っても、最初から全てを看護師が判断できるわけではなく、看護師が特定行為を行うには、医師のあらかじめ手順書が必要であり、手順書によって行為を行いません。

ACP: Advance Care planning